

地 圖

## 社会の目標について

## 【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 【学年・分野・領域等の目標など】

## [地理的分野]

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

## [歴史的分野]

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

### [公民的分野]

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

### 【参考】

#### ○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

#### ○ 標準授業時数

地理的分野－115単位時間      歴史的分野－135単位時間      公民的分野－100単位時間

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1・2・3学年	地図・701	新しい社会 地図
取扱内容 〔各学年の学習指導要領の総則及び各教科の内容等〕 内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動</li> <li>・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動</li> <li>・「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動</li> <li>・「世界の資料図」において、世界のエネルギー資源の分布と貿易を調べたり、SDGsの目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動</li> <li>・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動</li> <li>・「日本の資料図」において、日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</li> <li>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるような構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図を掲載したり、北海道地方のテーマ資料においてアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第1・2・3学年	地図・702	中学校社会科地図
取扱内容 〔各学年の学習指導要領の総則及び各教科の内容等〕 、 内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動</li> <li>・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動</li> <li>・「世界主要地域詳細図」において、モスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったり、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動</li> <li>・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動</li> <li>・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動</li> <li>・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</li> <li>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

<地図の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① 内容（「世界の諸地域に関する内容」「日本の諸地域に関する内容」「資料・統計等」）ごとのページ数及び総ページ数
- ② 北海道とかかわりのある内容(北海道に関する地理的事象)を取り上げているページ数及び箇所数
  - (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数
  - (2) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数
  - (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数
- ③ 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。
- ③ 我が国の地形や気候と関連する自然災害と防災への努力を取り上げることで、日本全体の視野から日本の自然環境を大きくとらえることが求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書	帝国
①	内容ごとのページ数及び総ページ数	世界の諸地域	ページ数	84	61
			全体に占める割合	44%	32%
	日本の諸地域	ページ数	86	71	
		全体に占める割合	45%	38%	
	資料・統計等	ページ数	22	56	
		全体に占める割合	11%	30%	
	総ページ数			192	188
	前回の総ページ数			184	176
	増減			4%	7%
②	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数	4	6	
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数	3	6	
		道内の市町村等を取り上げている箇所数	52	72	
③	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数		8	17	

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目② [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

者	内容	教科書の構成 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	アイヌの歴史・文化等の人たちの	北海道地方南部 (P139)	一般図 一般図	・シャクシャインの戦い (位置) ・アットウシ (位置)
		北海道地方 (P143)	一般図 一般図	・シャクシャインの戦い (位置) ・アットウシ (位置)
		北海道地方のテーマ資料 (P146)	資料図	・アイヌ語に由来する地名・アイヌ語を由来とする地名
		日本の都道府県の統計表 (P174)	表	・伝統的工芸品・二風谷アットウシ、二風谷イタ
北 方 領 土		世界と日本の統計資料 (P166)	表	・日本の主な島・択捉島、国後島、色丹島の所属を北海道として示す
		日本の都道府県の統計表 (P173)	表	・日本の都道府県の統計表・面積には、北方領土を含むことを注釈に示す
		日本の周辺 (P191)	一般図 写真	・日本の北端・日本の北端として択捉島を示す ・択捉島・日本の最北端は択捉島 (北海道薬取村) であり、ロシアに不法に占拠されていることを説明
帝 国	アイヌの歴史・文化等の人たちの	東アジアと日本の交流の歴史 (P31)	資料図	・蝦夷錦の伝播経路
		北海道地方南部 (P137)	一般図 一般図 一般図	・シャクシャインの戦い (位置) ・アットウシ織 (位置) ・アイヌの木工品 (位置)
		北海道地方 (P141)	一般図	・シャクシャインの戦い (位置)
		北海道地方の資料 (P144)	資料図	・開拓の歴史とアイヌ語地名・アイヌ語を由来とする地名
		日本の歴史遺産 (P162)	資料図	・日本の世界文化遺産と史跡・シャクシャインの戦い
		日本の統計 (1) (P172)	表	・都道府県別の統計・おもな伝統工芸品・特産物 (アットウシ織)
		日本列島 (P82)	写真	・知床半島から見た国後島・国後島の写真を示し、ロシアが不法に占拠していることを説明
		北海道地方 (P142)	一般図 資料図	・千島列島・帰属未定の地域について説明 ・日本とロシア・ソ連の国境の変遷
		自然の統計 (P165)	表	・おもな島・択捉島、国後島、色丹島
		日本の統計 (1) (P172)	表	・都道府県別の統計・面積には、北方領土を含むことを注釈に示す
北 方 領 土		日本の領土とそのまわりの国々 (P187)	写真・地図	・日本の東西南北端・日本の北端として択捉島を示す
		日本の領土とそのまわりの国々 (P188)	一般図	・千島列島など帰属未定の地域について説明 ・日本の北端・日本の北端として択捉島を示す